

株主の皆様へのご挨拶



ジェイ・リー (Jae Lie)
新華ファイナンス・リミテッド
最高経営責任者 (CEO)

株主の皆様

2008年、世界経済はこれまでに経験したことのない大きな金融危機に直面しました。大手金融機関は深刻な流動性危機を経験し、世界の金融市場は今後も変貌を続けると予想されます。多くの方々と同様、きっと皆様も現下の状況が新華ファイナンス・リミテッド自身、そして当社の今後の見通しや方向性にどのように影響を及ぼすのか懸念しておられるでしょう。

ただしはっきり申し上げられることは、この度の混乱にもかかわらず、当社は単に現在の金融危機を乗り越えるだけでなく、この不透明な状況から生まれる事業機会を生かせる立場にあるということです。これは、我々が積極的な措置を講じて中国市場に注力し、合理化を推進すべき必要性を2008年の初めに認識したからです。私が2008年5月に最高経営責任者 (CEO) に就任して以来、この再構築の大半を成功のうちに完了しています。

この結果、当社は1年前と比べて大きく様変わりしています。事業基盤を強化し財務の健全性を高めた結果、中国の成長市場に積極的に注力できるため、この混乱の時代にも自信を持って突き進むことができます。

新生新華ファイナンスの創造

2008年、我々は事業基盤と財務体質の改善に向け、事業再編計画を策定し実施しました。中国市場と当社の中核事業あるインデックス、格付、ソリューションの各事業に注力するために一部の事業を整理・売却しました。また、投資家の皆様が基幹事業の状況をより明確に把握できるように透明性を高める措置も講じました。

様々な難しい決定を下す必要にも迫られましたが、債務残高の削減により今後の事業展開の柔軟性や、中国市場の様々な成長機会を捉える力が増えています。さらに、営業費用と金利負担が減少すれば、中国の主要な経済拡大領域に対してさらなる投資が可能になると予想しています。

非中核事業の売却は、合理化を図り、中国金融市場に関する独自の付加価値情報を提供する中核事業重視の全体戦略に沿うものです。2008年7月、子会社のマージェントとキネティックを売却し、年末には、ワシントン・アナリシス、マーケットニュース・インターナショナルなどの子会社、G7グループとテイラー・ラファティの一部資産を売却しました。また、新華PRニュースワイヤーとの合併事業を売却し、中国におけるニュース部門を廃止しました。

2008年9月、総額1億ドルの2011年満期利率10%保証付優先社債(以下「社債」といいます)のうち約4,900万ドル分の償還を完了しました。非中核資産の売却に伴い2009年の最初の4カ月で4,200万ドル相当の社債をさらに償還し、その残存額は約900万ドルとなりました。

会社自体の透明性を高めたいとの願いもあり、2008年末に新華スポーツ・アンド・エンタテインメント・リミテッド(以下「XSEL」といいます。旧社名:新華ファイナンス・メディア・リミテッド)の議決権の個数が多いB種株式をA種普通株式に転換する決定をしました。それにより、XSELは新華ファイナンス・リミテッドの連結対象ではなくなり、両社の業績はより明確な区別が可能な形での開示ができるようになりました。両社を分離させることにより、透明性は改善し、それぞれの事業の把握も容易になっています。

当社グループは現在、従業員数321人の非常にコスト効率のよい会社になっています。2009年は、独自のノウハウを持つ分野、すなわちインデックス、格付、ソリューションでの成長に注力いたします。

中国の金融市場に戦略的に注力

当社が引き続き注力していることは、中国の成長著しい金融市場に関心のある投資家に金融情報とサービスを提供することです。金融市場への集中的取り組みと現地の事業基盤のおかげで、提供するサービスは他社と一線を画するものとなっています。この結果、当社は、世界経済において極めて重要な役割を果たし続ける中国に関する有益な情報とデータを提供することができるのです。

インデックス部門では、投資のための基礎指数もしくはベンチマークとしての利用が可能な信頼性の高いツールを提供しています。格付部門は、主に金融市場の影響をうける顧客企業に対し、これまでになく緻密な分析をレポートや報告を提供しています。ソリューション部門では、企業に関するデータのほか様々なツールを中国の顧客である金融機関に提供しています。

中核事業と中国への注力

インデックス

中核事業の1つとして、順調に新規契約を伸ばしている分野です。新華ファイナンスは、中国の株式市場および債券市場をカバーする多種多様なベンチマーク・インデックスおよびトレーダブル・インデックスを提供しています。FTSEグループやバークレイズ・キャピタルといっ

株主の皆様へのご挨拶

た世界的なリーダーとの提携により、成熟市場で開発された実証済みの手法を中国市場にも応用しています。2008年の間に、インデックス部門は数多くの優良グローバル企業のみならず中国大手企業と新規契約を締結しています。

契約を締結して当社サービスを利用している企業には、ゴールドマン・サックス、RBS、HSBCなどがあります。米国のETFプロバイダーであるHealthSharesやシンガポール取引所とも新たな契約を結び、当社のインデックスをご利用いただいております。さらに、中国保険最大手、中国人寿(チャイナ・ライフ)も契約を交わして中国本土株式の投資およびQDIIによる香港市場への投資のいずれにも当社のインデックスを活用しています。中国投資有限責任公司も、香港投資を目的としてベンチマーク・インデックスの利用契約を結んでいます。

2008年末時点で、当社の中国インデックスに連動するまたはベンチマークとして利用しているファンドの運用資産総額は、1,250億ドル超にのびました。

格付

2008年、当社の格付チームは90本を超える企業レポートや業界研究レポートを発表し、中国市場に関する情報源としての新華ファイナンス・ブランドの価値を一段と高めました。新華ファイナンスの格付チームの中心メンバーは、各種の金融フォーラムやイベントで、格付部門のリーダーであるチェン・チャンシン博士と共にパネラーとして選ばれる機会が増えています。チェン・チャンシン博士は、「中国銀行業界における革新とリスク管理」と題するセミナーを始め各種イベントでホスト役を務めただけでなく、中国市場の第一人者として、2008年10月に上海で開催された「コロンビア大学ビジネススクール・パネル討論会」など各種イベントで講演をたびたび依頼される機会も多くなりました。

格付部門のアナリストは年間を通して様々なレポートを発表し、その中でも特に中国の金融システムや経済における世界金融危機の影響についての分析を重点的に行っています。これらのレポートとしては、金融、不動産、医薬品、石油・ガス、石炭・電気など中国の主要産業に関する洞察力豊かなリスク分析を盛り込んだ8本のセクター・レポートや4本の解説レポートなどがあります。2008年に発表された主要レポートの1つには、中国資本市場の状況を客観的に分析した「中国証券業界の2007年信用動向」といったものがあります。

格付チームはまた、メディアとの積極的な協力関係の推進もすすめました。中国金融新聞大手の21CNビジネス・ヘラルド主催による「2007年度ベスト・ブローカー・アワード」において、評価基準の策定および候補会社のノミネートをサポートしました。

ソリューション

ソリューション部門では、金融機関、ファンド、政府機関など様々な法人に広範囲にわたる市場データや調査結果を提供しております。約8万の情報端末を通して中国の大手商品ブローカー100社以上にリアルタイムで情報を配信しており、金融端末事業は、金融情報を提供するもう1つの重要な媒体になっています。現在、商品と先物のデータに注力しておりますが、今後は株式、債券、為替など他の主要な資産クラスにもサービスを拡大する予定です。また、金融調査、付加価値サービス、リスク分析・レポートにも業務を拡大中です。

金融調査子会社では、政府の政策、産業チェーン、農業セクターの業界などについて深く掘り下げた分析を提供しています。付加価値サービス部門は、SMSやモバイル・アプリケーションを利用して現物商品の価格情報を約3万の顧客に配信しています。リスク分析・レポート部門は、金融機関が主に株式市場やファンド・マネージャー向けの投資リスク分析レポートを作成するのを支援しています。当社はまた、ドイツ取引所の1部門であるAVOXと戦略的提携を結び、中国と台湾の金融機関向けに事業法人データを提供しています。

次なるステップ

現在の当社を、1年前と比較して以下のようにまとめてみました。

- 非成長部門である米国資産を売却。
- インデックス、格付、ソリューションという中核事業に注力。
- およそ9,100万ドル相当の社債を償還し、残高は900万ドルに圧縮。
- 中国の成長分野である金融市場で確固とした地位を築く。

2008年、大きな飛躍を遂げることができましたが、我々は今後も努力を継続していかねばなりません。会社運営費用を前年から50%削減したものの、引き続きコストを抑える努力が必要です。しかし同時に、当社の長期的発展を目指すために、賢く投資する必要もあります。我々は今後も既存の事業や新商品、そして最も大切な財産である人材に対して投資を行っていきます。

最後に、最近のような混乱した時期に終始、当社をサポートしていただいた支援者や株主の皆様へ感謝を申し上げたいと思います。また、常に変わることなく当社にコミットしていただいたことに誇りを感じつつ、お客様、パートナー企業、従業員の皆様に感謝したいと思います。世界の経済は引き続き困難に直面しているものの、当社は事業の再構築に成功し、中国における成長機会を捉えております。注力すべき対象が明確となった現在、当社は今後も成長を続けていけると確信しています。

敬具

ジェイ・リー (Jae Lie)
新華ファイナンス・リミテッド
最高経営責任者 (CEO)